

## 在宅看取りを希望する患者における退院時共同指導と在宅看取りの関係

### : 後ろ向きコホート研究

#### ・はじめに

年々、在宅医療を受ける患者さんは増加し、それに伴い自宅死や老人ホームでの死亡の割合は増加しています。末期がん患者さんが在宅療養で満足のいく看取りを行うためには、サービスの充実や医師患者関係・病診連携の構築、患者・家族の不安の解消などが重要な要素となりますが、これらを実現するために、退院時共同指導を利用することが可能です。

退院時共同指導は住み慣れた地域で継続して生活できるようにするために、退院時に地域の関係者と連携を推進するなど、切れ目のない支援を行うために創設されたものです。

今回、退院時共同指導に在宅医が参加することが在宅看取りに与える影響を評価するために調査を行います。

#### ・対象

研究にご協力いただいている医療機関で、2016年1月1日から2020年12月31日の間に、在宅医療を受けられた患者さんを対象に致します。対象となる患者さんはそれぞれの施設で250名程度です。対象となることを希望されない方は下記連絡先までご連絡ください。

#### ・研究内容

在宅医療を実施している医療機関での診療の情報から、統計学的手法で調整を行った上で、どのような影響を与えているかを評価します。

この研究を行うことで患者・遺族の方に余分な負担が生じることはありません。

#### ・個人情報の管理について

個人情報漏洩を防ぐため、北海道家庭医療学センターにおいては、個人を特定できる情報を削除し、データのデジタル化、データファイルの暗号化などの厳格な対策を取り、第三者が個人情報を閲覧することができないようにしております。

また、本研究の実施過程及びその結果の公表（学会や論文等）の際には、患者さんを特定できる情報は一切含まれません。

#### ・研究期間

研究を行う期間は倫理審査会承認日より 2022年3月31日までです。

#### ・医学上の貢献

本研究により遺族の方が直接受けることができる利益はありませんが、将来、研究成果は終末期がん患者・遺族に対する最適な満足度の高い医療の解明の一助になり、多くの方に貢献できる可能性が高いと考えます。

## ・研究機関

研究責任者：

佐藤 弘太郎（医療法人北海道家庭医療学センター 学術・研究支援センター センター長）

共同研究者：

白水雅彦（医療法人北海道家庭医療学センター 本輪西ファミリークリニック）

加藤光樹（まどかファミリークリニック）

連絡先：

担当者：佐藤弘太郎

住所：北海道札幌市東区北 41 条東 15 丁目 1-18

電話番号：011-374-1780

E-mail: kotaros@hcfm.jp